

授業科目	発達臨床心理学演習				単位	2		
履修	選択	関連資格			ナンバリング	WE31412J		
開講年次	4年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP3-2 DP4-3			
担当教員	杉本 有紗							
授業概要	近年、社会の急激な変化の中で、発達臨床的ニーズを有する子ども・人々が増加している。これらのニーズに対応するためには、人間の「心のメカニズム」への深い理解が必要であるが、そのためには、生物学的側面や認知、言語機能などの個人内の機能だけでなく、対象児・者の生活や人間関係など多様な環境的側面も含んだ包括的な理解の観点も不可欠である。本演習では、発達臨床心理学の実践研究から事例の分析・グループ討議を行い、発達のニーズを有する子ども・人々への支援の在り方について検討することを目的とする。							
学生が達成すべき行動目標	1. 事例研究の基礎を身につけている (1) 各事例のおかれた発達段階、発達課題、心理臨床学的課題について説明することができる(DP1-1、1-2) (2) 各事例に適用されている心理臨床学的支援について、その意義と課題を説明することができる(DP 2-1) (3) 事例論文の内容について、倫理的に適切に判断し、取り扱うことができる(DP2-2) 2. 事例研究を発展させることができる (4) 関心を持って積極的に事例論文を検索し、収集することができる(DP3-1) (5) 複数の研究成果を分析、検討して、発達臨床のあり方について、意見を表現することができる(DP3-2) (6) 積極的に意見を述べたり、他者の意見に耳を傾けることができる(DP4-3)							
達成度評価								
評価と評価割合／評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	30	70	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)				10			10	
知識・理解 (DP1-2)				10			10	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)				20			20	
思考・判断 (DP2-2)				10			10	
関心・意欲 (DP3-1)				10			10	
関心・意欲 (DP3-2)			30				30	
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)				10			10	
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
1. 事例研究を客観的に評価し、コメントできる 2. 事例研究から独自の視点を導き、さまざまな研究成果を統合できる				1. 事例研究の基礎を身につけている 2. 事例研究を発展させることができる				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション 事例研究とは	オリエンテーション 講義		
2	事例研究の検討	講義	予習:事例論文を検索する	60
3	第3回～第11回 グループワーク 担当者は事例研究の検討結果を発表する。それに基づき、グループディスカッションを実施する。	グループワーク	予習:発表する予定の事例論文を検討する。 復習:授業で検討された事例論文を読み深める。	180分
4	第12回 複数の研究の比較検討	講義 個別指導	予習:文献を収集する。 復習:文献の比較検討を行う。	240
5	第13回, 第14回 収集した文献を読み, 整理, 検討し, レポートを作成する。また, 発表原稿を作成する。	個別指導	レポートの作成には時間がかかるので, 各自, 演習の時間外にも時間をとり, 適切な準備を行うこと。	240分
6	第15回 発表 各自が作成したレポートに基づき, 研究発表を行う。	発表		
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	福祉臨床心理学 I, II, 発達心理学 I, II, 発達臨床心理学の講義を履修していることが望ましい。			
テキスト	特になし			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	『発達心理学研究』 『心理臨床学研究』 『教育心理学研究』 『21の実践から学ぶ臨床発達心理学の実践研究ハンドブック』 臨床発達心理士認定機構・日本発達心理士会(編) データベース CiNii 医学中央雑誌Web など			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	資料を何度も読み返すこと, 分からないことを放置しないで教員に尋ねることなど, 学習の基本が大切です。			
達成度評価に関するコメント	発表を重視します。 発表内容により、行動目標(1)から(4)を評価します。 またディスカッションは研究の理解を深めるのに大変役立ちます。 討論への参加は、行動目標(6)にて評価します。 最終レポートにて行動目標(1)から(4)に加え、(5)について評価します。			